

鷹栖町

丸山貴大

1. 概要と歴史

1.1 地名の由来

かつて、トンビや鷹が多く、アイヌ語で「チカップニ」（大鳥が棲むところ）と呼ばれていたのを意識して「鷹栖」の名がつけられたという。

1.2 歴史

1892 年、上川郡のうち石狩川右岸一帯を鷹栖村とした。1906 年、二級町村制になり、上川郡比布が分村した。1924 年、鷹栖村（旧）が東鷹栖村に改称。そしてその東鷹栖村が鷹栖村（新）と、江丹別村が分村する。この鷹栖村（新）が現在の鷹栖町とほぼ一致し、江丹別村（現在は旭川市と合併され、旭川市江丹別）と一致する。1969 年町制施行、鷹栖村（新）が鷹栖町になる。このことから、鷹栖町（旧）とは、現在の鷹栖町より、広い範囲であり、現在の比布町、旭川市江丹別、旭川市東鷹栖も含めた地域を指すものだったということがわかった。

2. 自然

2.1 地理

鷹栖町は北海道上川支庁管内、上川郡の町であり、旭川市の北に隣接している。鷹栖町は面積 139,44 km^2 であり、広ぼうは東西 11,8 km、北西 19,7 km となっている。また、位置は東経 42°、北緯 43° となっている。北海道のほぼ中央に位置し、周りを小高い山に囲まれている。

全体的には盆地状をなし、中心部を石狩川に注ぐオサラッペ川が北から南へ貫流している。中心部から JR 旭川駅まで車で約 20 分という利便性の高さと、それでいて豊かな自然に囲まれた住みよい環境にある。

図 1 鷹栖町の位置



出典：フリー百科事典
wikipedia

図2 近隣の市町との位置関係



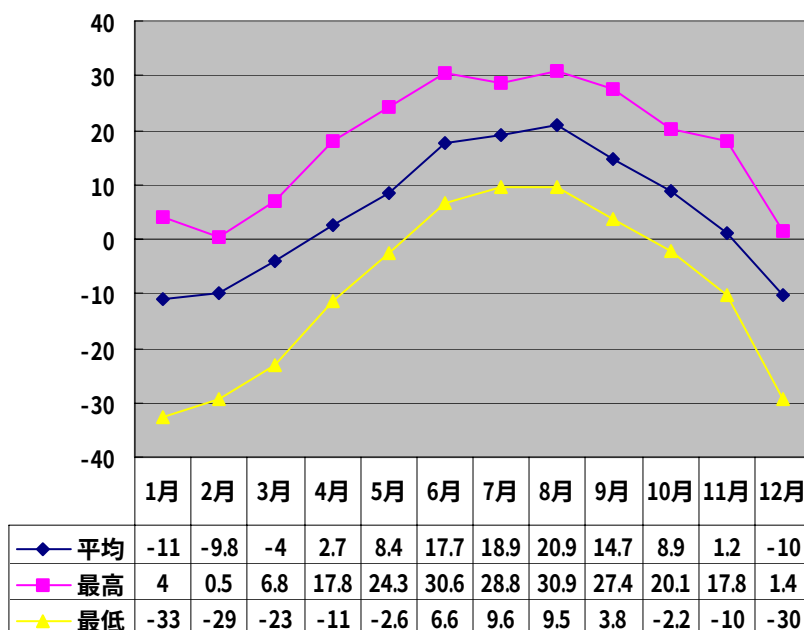
出典：鷹栖町役場HP

細かく見てみると、隣接はしていないが、比布町と近い。旭川に隣接しているというか、とり込まれそうな位置にある。他にも近くに、美瑛町、愛別町、当麻町、東川町、東神楽町、上川町、などがあるが、いずれも隣接しておらず、旭川をはさんで立地している。

この地図上で、鷹栖町の右側につきだしている部分は、元は鷹栖町の一部だった東鷹栖の部分であり、少々いびつな形になっている。

2.2 気候

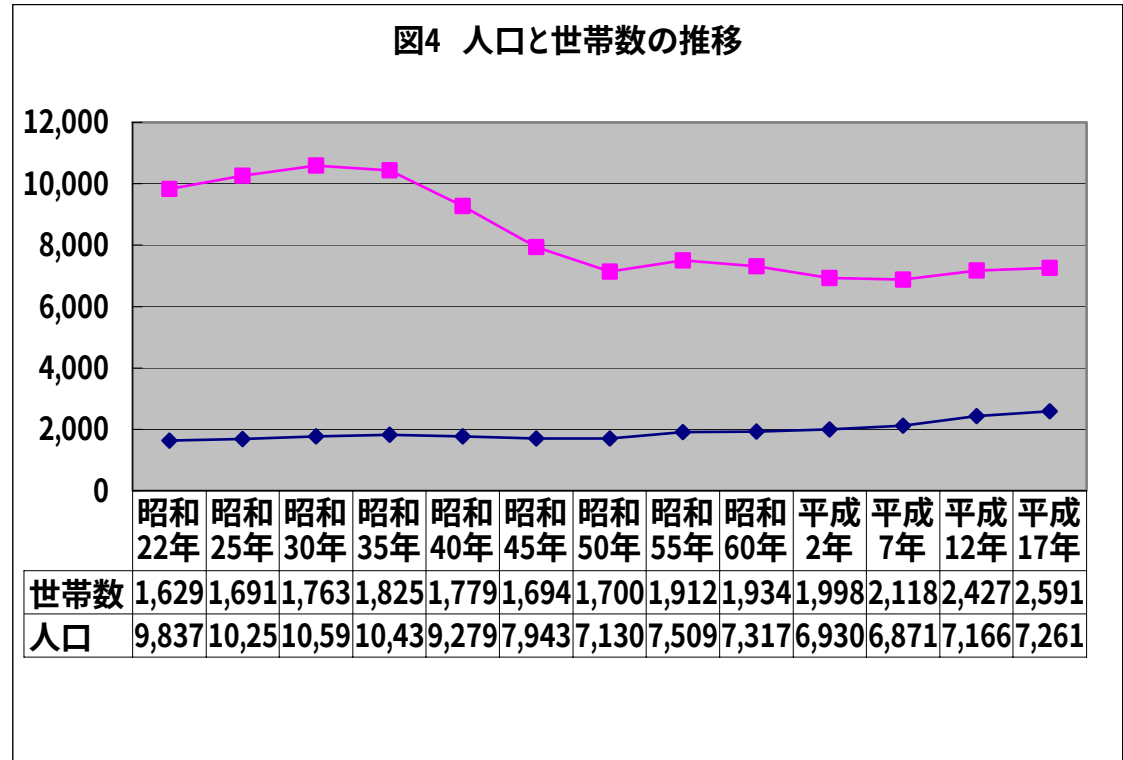
図3 鷹栖町の気温の様子



12,1,2,3 月の平均気温がマイナスになり、最低気温も -30°C を下回っており、とても寒い地域である。雪も 4 月下旬まで残っているところもあり、春の訪れがおそくなっている。その反面夏の最高気温は 30°C をこえる所もある。

北海道の上川盆地に多くみられる典型的な気温であると思う、特に旭川市とその周辺の町村と変わりはない。夏は最高気温が 30°C に達し、冬は -30°C 、実に 60°C もの気温差がある寒暖の差が激しい地域である。

3. 人口・世帯数推移



人口は、昭和 40 年の 9,000 人以上いた頃よりは、少なくなっているが、急激な人口減少に苦しむ町村に比べると、鷹栖町はそこまでひどくはないようだ。人口は平成 7 年からは増加に転じている。世帯数が増えているのは、核家族化が進行しているためであろうか。さらに人口が平成 7 年以降増加している理由として、旭川の「ベッドタウン」として人口が増えていると考えられるだろう。

鷹栖町は旭川市と比べて土地を安くしているので、旭川市に勤務している人も、鷹栖町に家を建てて、出勤していると考えられることができる。

ちなみに昭和 40 年までのデータは「鷹栖村」のものであり、昭和 44 年に鷹栖村から分村した「鷹栖町」のデータが昭和 45 年以降に記載されている。そのため、昭和 40 年から 45 年にかけて人口が急に減っていることがわかる。

4. 産業

4.1 農業生産額

表 1 農業生産額（単位 1000 万円）						
区分	平 11 年	平 12 年	平 13 年	平 14 年	平 15 年	平 16 年
米	339.6	319	309	267	277	235
麦類	0.7	2	4	2	9	8
雑穀、豆	5.1	5	4	6	10	9
いも類	0.9	1	1	1	1	1
野菜	57.6	96	91	108	104	85
果実、花	4	4	1	2	2	2
工芸作物	0	-	0	-	-	-
種苗	1	0	0	0	0	0
畜産物	19.8	22	21	21	18	18
合計	408.9	427	432	407	423	360

総生産額が一番大きいのは、やはり米である。鷹栖町はあまり店がないが、田んぼがたくさんある。また、野菜作りも盛んであり、特産品の「オオカミの桃」を作るためにトマトの生産が多くなっている。米の生産額は、ここ数年でかなり減少しており、主要産業である米の生産が、消費の減退に伴って減っていることが読みとれる。また、野菜の出荷額が米の次に多くなっている。これは、鷹栖町が 36 万人の人口をもつ旭川市と非常に近いことが関係しているかもしれない。野菜を新鮮まま市場に運ぶことができるので、近郊農業的な状況になっていると読むことだできそうだ。

4.2 商業の状況

表 2 商業の状況（単位、店、人、万円）			
年	商店数	従業員数	販売額
平成 11 年	45	333	1.559.079
平成 14 年	50	313	1.168.700
平成 16 年	45	256	1.071.841

商店の数は横ばい状態。従業員数、販売額共に減少している。鷹栖町にはあまり店がないし、町民の多くは旭川市の店で買い物をする。特に、年前にオープンしたイオン旭川店は旭川

市緑町に立地し、鷹栖町にとっても近い。このことも町民の、町内での買い物をしなくなる一因になっていると考えられる。

とくに販売額は平成 16 年までに激減しており、商業は思わしくないようだ。

4.3 工業の状況

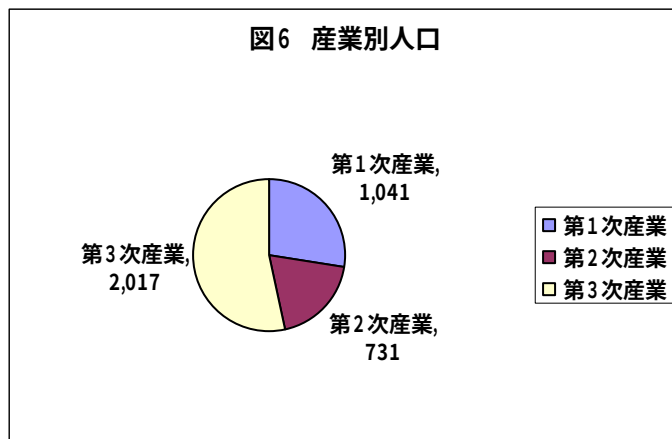
表 3 工業の状況（単位、所、人、万円）			
年	事務所数	従業員数	出荷額
平成 11 年	12	257	334,415
平成 12 年	9	246	353,698
平成 13 年	15	380	395,735
平成 14 年	15	327	395,336
平成 15 年	14	287	366,216
平成 16 年	13	268	310,466

出荷額、従業員数、事務所数すべて平成 13 年がピークで、次の年から減少している。第 1 次産業が最も多い鷹栖町では、工業は伸び悩んでいるようだ。従業員の数は、一時期は 400 人に迫る勢いで増えていたが、平成 14 年からは減少に転じ 200 人台まで落ち込んでしまっている。

平成 13、14 年とほとんど横ばい状態だが、15 年には減少に転落している。平成 16 年の出荷額の落ち込みは著しい。平成 11 年の水準をも割り込んでいる。

5. 産業別人口

表 4 産業別人口		平成 12 年		
		総数	男	女
総数		3,799	2,132	1,667
第 1 次産業		1,041	524	517
	農業	1,033	518	515
	林業	8	6	2
	漁業	0	0	0
第 2 次産業		731	526	205
	鉱業	3	2	1
	建設業	493	401	92
	製造業	235	123	112
第 3 次産業		2,017	1,076	941
	卸売・小売業	567	262	305
	金融・保険業	36	12	24
	不動産業	9	6	3
	運輸・通信業	158	125	33
	電気・ガス・水道	13	9	4
	サービス業	1,027	478	549
	公務	207	184	23
分類不能の産業		10	6	4



鷹栖町は第1次産業が強そうなイメージがあるかもしれないが、結果は第3次産業の人口が一番多かった。ただ、漁業や林業の人口がほとんどないため、鷹栖町の第1次産業のひとは、ほぼ農業人口だけで占めているといっただろう。その中で全体の25%を占めている農業は、鷹栖町にとって重要なものである。また、第2次

産業の中では、建設業が多くなっている。これは鷹栖町が、旭川市と比べてかなり安い値段で土地を売っているため、家を建てる人が多くなっているためと考えられる。特に「シンフォニータウン」という地域では新しい住宅の建設ラッシュが起こっており、今後人口が増える可能性もある。

6. 特産品の紹介

図7 オオカミの桃



原材料はトマト（鷹栖町産100%）賞味期限は24ヶ月（開封後は要冷蔵）

全国から注文が来て、インターネットで注文しようとしても品切れになっていることが珍しくない。

食塩0.3%以外に添加物は一切使用していないので、おいしく味わうことができる。

出典：鷹栖町役場 HP

7. 観光

鷹栖町に、毎年観光に訪れる人は少なかった。しかし、平成17年にオープンした、丸山パークゴルフ場が大人気で、観光者が増えた。観光客数は平成17年には5,900人であったが、平成18年には109,700人に急増している。原因をこれだけに求めていいかどうかはわからないが、かなり影響を与えていそうだ。

図8 丸山パークゴルフ場



出典：鷹栖町役場 HP

丸山調整池のまわりにある丘陵地で、起伏に富んだ18コースがあり、楽しむことができる。場所は鷹栖町21線14号で、5月上旬から、10月下旬までオープンしている。大雪山、十勝岳連峰を一望することができ、初心者でも楽しめるコースがたくさんあるという。

橋の欄干の鉄琴を順にたたくとメロディーを奏でる。旭川に隣接した鷹栖町を流れるオサラッペ川にかかる「北野橋」。日本で最初のメロディーを奏でる橋として知られ、町のシンボルとなっている。全長100メートルの橋の欄干に鉄琴が施され、それを順にたたいていくと童謡の「夕やけこやけ」のメロディーが奏でられるという。

図9 メロディー橋



出典：鷹栖町役場HP